

2025年1月26日

「永遠の命に至る水」

ヨハネによる福音書 4:7-14

早川 真牧師

イエス・キリストは、私たちの心の奥深くにある、まるで渴いた井戸のような、満たされない部分を知っておられます。そして、その渴きを癒すため、私たちに語りかけられます。イエスはこの女性にへりくだって語りかけられ、そのもっとも触れられたくないところに触れられました。そしてその時、この女性の中で何かが確実に変わりました。これまで人目を避けていたにもかかわらず、町に行って人々にイエスのことを知らせました。それは、イエスとの対話を通して、この女性の深いところが癒され、そこから、泉が湧き出たということではないでしょうか。

そしてそれは私たちにも同じように起こることであると言えます。イエスは私たちにもへりくだって語りかけられます。そのへりくだりの究極ともいえるのが十字架です。十字架は、これ以上ないほどに、恥と痛みと苦しみを与える刑罰です。イエスは、いわば人として最も醜い姿、できることなら目を背けたいそのような姿になって、私たちに語りかけておられる。それは私たちの心の奥底にある渴きを癒すためです。

イエスの与える永遠の命に至る水は、私たちの心の奥深く、誰にも知られたくないような部分に湧き上がります。十字架の傷と血が私たちの罪のためだったということは、できるなら見たくないものです。目を背けたい事実です。しかし、そこにこそ、私たちの心の奥深くにある飢え渴きをいやす永遠の命に至る水が湧き出ます。私たちの最も深い部分に触れられ、癒され、そこから流れ来るこの神の愛、十字架のイエス・キリストの血潮を、日ごと頂き、永遠の命に至るものとされてまいりたいと思います。